

1 出発式



2 休憩～道の駅「しもごう」



ただ何となく、うろうろ

3 檜枝岐村到着～中土合公園でお弁当



岩魚を焼く準備のお母さんたち



長～いヘビがいたようですが・・・

#### 4 体験活動1〔岩魚つかみ〕

泳いでいる岩魚は素早いのでなかなか捕まえない、石の下にそっと手を入れて探してみると・・・





あと一人・・・。何とか捕まえさせたい、みんなで一致団結して岩魚を追い込んだり、石の下を探したり。そして・・・、ついに捕まえることができました。捕まえたときの姿とてもうれしそう、そして、あまりにもアクティブな動きすぎて、残念なことに写真に撮るのが追いつかず・・・。ごめんなさい。



炭火で焼いた岩魚、すっっっごくおいしいです。



## 5 体験活動2 (はっとう作り)

「はっとう」は、そば粉ともち粉をこねて、ゆでて、じゅうねん(エゴマ)と砂糖をまぶした檜枝岐の伝統食。なぜ「はっとう」というのかは生徒に聞か、調べましょう(学習には適度な突き放しは必要です)。



はっとうは、ひしがたの、ちょっと甘めの、何かしら懐かしい感じがする、優しい味で、おやつにちょうどいい感じの・・・ものです。

早めに宿に着いたので、檜枝岐村内の散策・・・のはずでしたが、あいにくの雷雨。雷はだめですね。急いで宿に戻って、部屋で和気藹々(読めますか)と過ごしたようです。



## 6 夕食



実行委員長のお話し・・・。

岩魚の塩焼き（本日3匹目の人も）、そば（おいしいです）、山菜やキノコ類、地元の野菜や漬け物、豊かな郷土食です。



食事の鉄則・・・  
「初めての食材も食べてみる！」  
（今日はまだだいじょうぶかも）



番外編・・・ よく見るとタオルを持った生徒が（夜、暗いです）。「燧の湯」の大きなお風呂へ、生徒12人、教員3人、みんなで行きました。露天風呂が気持ちよかったです。檜枝岐村の各家庭には温泉がひいてあるそうです。「燧の湯」「駒の湯」の2つの公共浴場とアルザのお風呂が入れるとのこと。



消灯はなんと21時。普段の生活ではこの時間に寝る生徒は、まずいないと思いますが、明日は山を越えて尾瀬に行くので、早めに寝ます（寝たはず・・・です）。1日目終了。

檜枝岐村の夜は、とても涼しい！ ちなみに気温は100m高くなると0.6℃低くなります（これを気温の遞減率<sup>ていげんりつ</sup>といいます）。檜枝岐村の標高が約1000mなので、いわきの沿岸部より約6℃低くなります。尾瀬沼周辺は標高約1660mぐらいなので約14℃ぐらい涼しい状態ですね。